

95%

新型コロナウイルスワクチンについて

接種が有力視されるアメリカ・ファイザー社製のワクチンは、アメリカで1千万人以上、イスラエルの国民1/3以上の接種実績をもちます。アメリカの薬やワクチンの承認などを行う「米FDA」の発表では、これまでの治験や接種実績から、95%の有効性があると報告されています。一方、接種に伴い通常に見られる反応である副反応については、ワクチン接種と因果関係がないものも含め、10人に8人は副反応が起こると言われていますが、そのほとんどが数時間・数日以内に収まる軽微なものと言われています。また、アナフィラキシーなどの異常な反応である副作用も稀に起こるとされ、その確率は、百万人に5人程度と言われています。すでに日本では医療従事者へのワクチン接種が始まっており、今後、副反応や副作用の報告がありますので、その報告をご参考ください。



↑日本では2月17日から、福岡県では19日から医療従事者への先行接種が始まっています。【写真提供】国立病院機構神戸医療センター

打つデメリットと打たないデメリットを踏まえて

新型コロナウイルス ワクチン接種



—個人予防を徹底しているのに、どうして、新型コロナウイルスワクチンを接種しなければならないのでしょうか？
基本は、「手洗い」や「咳エチケットの徹底」、「三密の回避」ですが、これらは、体の中にウイルスを入れないための対策です。体内にウイルスが侵入したときのために「病気を発症させない」または、「発症しても重症化させない」ようにワクチンで免疫を作っておかなければなりません。
—新型コロナウイルスワクチンの安全性が不安です。
全てのワクチンは、「医薬品医療機器総合機構」で、海外のデータの収集、日本人への治験



●荒木 久昭 会長
1950年生まれ。久留米大学医学部を卒業後、昭和35年に父が開業した「荒木小児科医院(〒73-2131)(川崎町)」を平成4年に継承。平成28年、田川医師会・会長に就任。

流行開始から約1年経過した2月14日。感染症終息に向けた待望の新型コロナウイルスワクチンが日本で初承認されました。しかし、新しさ故の不安や疑問があるのも事実…。皆さんの悩みを解消するため、田川医師会・荒木会長取材し、お話しを伺いました。

など、厳重な審査を経て、効能や安全性を確認し、承認していますので、ご安心ください。
—新型コロナウイルスワクチンの効果があるのでしょうか？
私たちに接種されるワクチンとして有力視されるファイザー社製のワクチンの有効性は95%と示されています。ただし、臨床試験や接種が始まってから日が浅いため、効果の持続期間など、明らかになっていない部分もあります。
—新型コロナウイルスワクチンの副反応や副作用が心配です。
米CDCの1月初旬の報告では、注射部位の痛み84%、疲労感63%、頭痛55%、筋肉

痛38%、悪寒32%、関節痛24%、発熱14%の副反応が確認されています。副反応が発生しても、数時間あるいは、数日以内に収まり、それ以上悪化しない場合がほとんどです。集団接種会場では、複数の医師と看護師がいますので、稀に発生する重篤な副作用が接種後に発生しても、すぐに対応できる体制を準備しています。
—今後、接種はどのように行われる予定ですか？
ファイザー社製のワクチンであれば、1人2回の筋肉注射を1回目から3週間を空けて2回目を接種します。2回

接種する理由は、1回目の接種で作られた抗体を2回目の接種で倍以上に増やす「ブースター効果」を誘発するためです。ファイザー社製ワクチンの接種対象は、米国などと同じ16歳以上となり、妊婦は医師が「有益性が危険性を上回る」と判断した場合に接種できます。また、過去のワクチン接種で重篤な反応が見られた人は、今回のワクチン接種でも注意が必要となります。
—接種することで「日常」を取り戻せるのか？
接種率を100%にできれば、私たちの「日常」を取り戻せる可能性もありますが、60%

を下回ると、集団免疫ができず、感染症との闘いは続くと言われています。
数日以内に収まる副反応と稀に起こる重篤な副作用という「ワクチンを打つデメリット」と、新型コロナウイルス感染に伴う味覚・嗅覚の欠落、脱毛、最悪の場合は死に至るといふ「ワクチンを打たないデメリット」とを比較し、どちらのデメリットが勝るか。また、接種を受けることは自分の命だけでなく、皆さんの大切な人の命を守ることもつながるということを踏まえ、新型コロナウイルスワクチンの接種について判断してほしいと思います。



福岡町立 方城診療所 ▶ 浅野 茂利 院長
福岡町立 コスモス診療所 ▶ 小川 雅克 院長
宇都宮医院 ▶ 宇都宮 潔 院長
医療法人 方城中央クリニック ▶ 小野 いつみ 院長
医療法人 たくまクリニック ▶ 詫摩 衆三 院長
医療法人 田川慈恵病院 ▶ 田中 真理子 院長
医療法人 上野病院 ▶ 長井 啓介 院長
医療法人 赤池協同医院 ▶ 西 和紀 院長

新型コロナウイルスワクチン接種 協力医療機関のご紹介

福岡町では、地域に根ざした医療提供に貢献する8つの医療機関のご協力を得て、新型コロナウイルスワクチン接種を行います。※50音順で紹介

- INFORMATION -

新型コロナウイルスの最前線

福智町からのお知らせ 新型コロナウイルスワクチンの接種について

福智町は、新型コロナウイルスワクチンを安全かつ短期集中的に接種するため、感染症対策を徹底しながら「集団接種」を実施することを決定しました。今回は、現時点で決まっている情報をお届け。詳細は、「広報ふくち」や町公式のHP、文書などで随時お知らせします。

1 ワクチン接種の順番

- ① 医療従事者(2月中旬から開始)
- ② 65歳以上の方
- ③ 基礎疾患があるかた
- ④ 60~64歳の方
- ⑤ 上記以外のかた

※接種のスケジュールは、国が調整中です。

2 ワクチン接種券の送付

ワクチン接種の接種時に必要となる「接種券」を順次送付する予定です。接種までに日が開きますので、紛失しないよう、ご自宅で大切に保管をお願いします。

※医療従事者のかたにも送付する予定ですが、接種がお済のかたは、使用しないでください。

3 接種会場・費用・予約

会場▶コスモス保健センター

費用▶無料(自己負担はありません)

予約▶専用の予約センターへ電話予約

※開設時期は、追ってお知らせします。

4 ワクチン接種当日の流れ

- ① 入口で非接触型検温器を使用し検温
- ② 予診票の記入確認と脇下検温
- ③ 受付(予約身分証確認、接種券提出)
- ④ 医師による問診
▶体調や持病の確認、接種に必要な診察を実施し、接種の可否を判断します。
- ⑤ 上腕に筋肉注射でワクチンを接種
▶肩が出しやすいような服装が理想的
- ⑥ 接種済証の発行
- ⑦ 健康観察のため館内で15~30分待機
▶アナフィラキシーなどの症状が生じることがあるため、館内で健康観察。
- ⑧ その後異常がなければ帰宅

問 役場保健課 ☎ 28-9500